

公開学習会

幼児教育の今とこれから



人間形成部会

子育て・親育ち部会

丹下 加代子(事務局)

10月11日に「幼児教育の今とこれから」というテーマで、現代における人間形成部会と子育て・親育ち部会合同で公開学習会をしました。

報告者は、山田隆幸さん（あいち民研事務局・日本生活教育連盟）です。

8名の参加がありました。

大変分かりやすいふたつの対照的な保育活動の様子を映像で観ました。ひとつは幼児期からの能力開発に力を注ぎ、即戦力を求めた内容の保育園。もう一方は生活の中から人や物とのかかわりを育てていこうとしている瀬戸市の保育園でした。

今、若い父母は生活を維持することにエネルギーをつかう一方、情報の錯綜で育児圧力をかけ、孤立している人が多いのではと思います。

そんな中、子どもたちが大きな声であいさつをし、難しい漢字を読んだり、お行儀のよい姿を見せられると、そういった保育園を求めていくのではないかと思います。

子どもというのは好奇心の塊で、興味があるところにわっと突き進むものと思っていましたが、きちんと椅子に腰かけ行儀よく座り続けることができる。そんな保育をされた子どもたちが将来どんな子どもたちになっていくのか検証がほしいという話し合いがされました。

「親プロ」の数年にわたる調査においても子どもが育つ上で幼児期の子育てが重要であることを聞き取っています。

(あいち民研調査報告書 「親と子の10の物語が問いかけたこと」 500円)

「親プロ」の聞き取りでは、幼児期に土と太陽

と水の自然に囲まれた保育内容をされた子どもたちが中学に進んでいました。そして、人とかかわり、自分の意思をしっかりと伝えられるようになってきているのはこの幼児期の保育内容だと述べています。

公開学習会の話し合いは多岐にわたり、次のようないくつかの問題が出されました。

保育内容の問題

保育の環境

保育士の労働環境

親の経済的な格差の問題

それらを憲法13条「すべての国民は個人として尊重される」14条「すべて国民は法の下に平等」という観点から分析をしていったらどうだろうかという意見が出されました。

私は親育ちのメンバーと参加したのですが、その方が、

「いろいろな角度からの発言で非常におもしろかった！！」

という感想を話してくれました。

子育てについて おしゃべりをする会を計画しています。お誘いください。

親育ち・子育ての会

11 / 24 (月) 14時～

東海市上野公民館(駐車場あり)

名鉄 聚楽園 駅より東へ徒歩15分

<http://www.city.tokai.aichi.jp/3933.htm>

